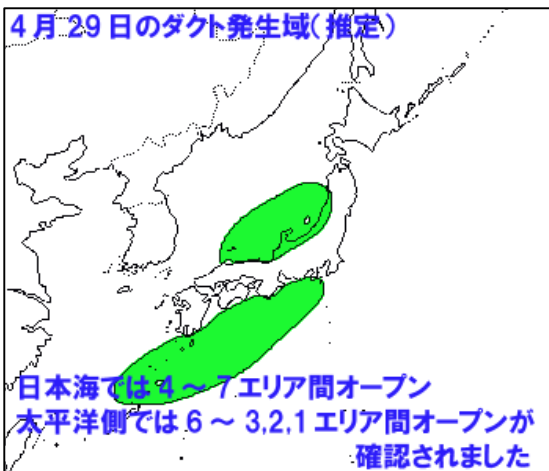
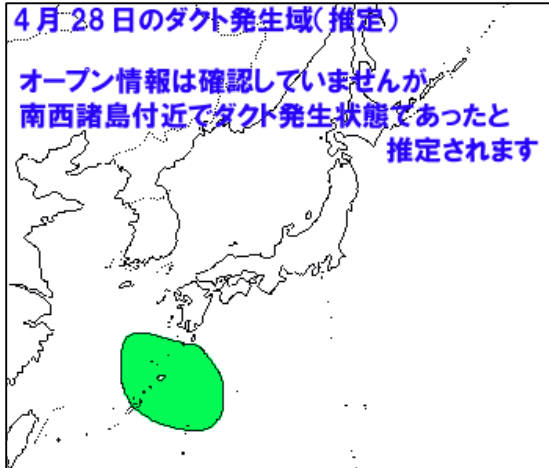


またまた、太平洋ダクト広域オープン！

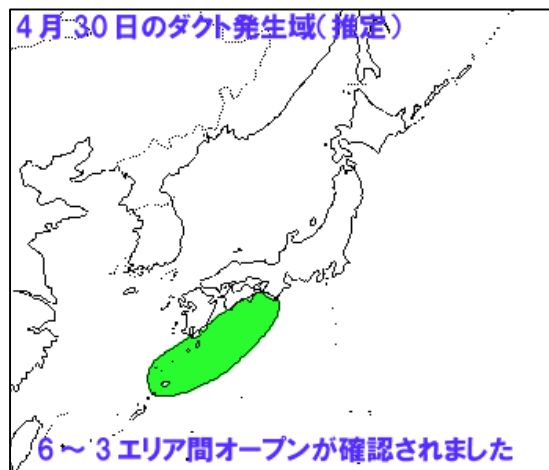
2004年4月28日～30日 JG0TEV 中村

移動性高気圧が勢力を強めながら日本付近を通過しました。
これに伴い、太平洋側では6エリア～1エリアに至る広い範囲で、日本海側でも4エリア～7エリアに至る範囲でダクト発生によるオープンが確認されました。



JM6WRH 平さんからのオープン情報
6～2,3.1エリア間オープンが確認されました
22:47 JH2XCX (愛知・豊橋市) -JM6WRH(鹿児島・大島郡)
RS59+60-59+60 FM
23:17 JM3KAO (和歌山・田辺市) -JM6WRH(鹿児島・大島郡)
RS59-59 FM
4/30
00:03 JE3KYJ (和歌山・橋本市) -JM6WRH(鹿児島・大島郡)
RS53-55 FM
00:06 7L3HZS/1(山梨・南都留郡) -JM6WRH(鹿児島・大島郡)
RS59-59 FM
00:08 7N4HJF/1(山梨・南都留郡) -JM6WRH(鹿児島・大島郡)
RS59-59 FM
00:35 JL2OLA/2(静岡・御前崎市) -JM6WRH(鹿児島・大島郡)
RS59-59 FM
00:37 JL2OKY/2(静岡・御前崎市) -JM6WRH(鹿児島・大島郡)
RS59-59 FM

JO7IZC須藤さんからのオープン情報
7～0.4エリア間オープンが確認されました
14:50 JR4MDA(鳥取・米子市) -JO7IZC(秋田・由利郡)
RS59-59 FM
15:00 JA0AJP -JO7IZC(秋田・由利郡)
RS59-59 FM
*JO7IZC ハンディ300mwでRS53 FM



JM6WRH 平さんからのオープン情報
09:20 JK3OBQ (和歌山・西牟婁郡) -
JM6WRH(鹿児島・大島郡)
RS59-59 FM
*JM6WRH モービルでマイブから発信

気象解析

地上天気図では本州の南海上を高気圧が通過していたことがわかります。

30日には勢力を1020hpaと強め、日本付近の広い範囲で高気圧に覆われました。

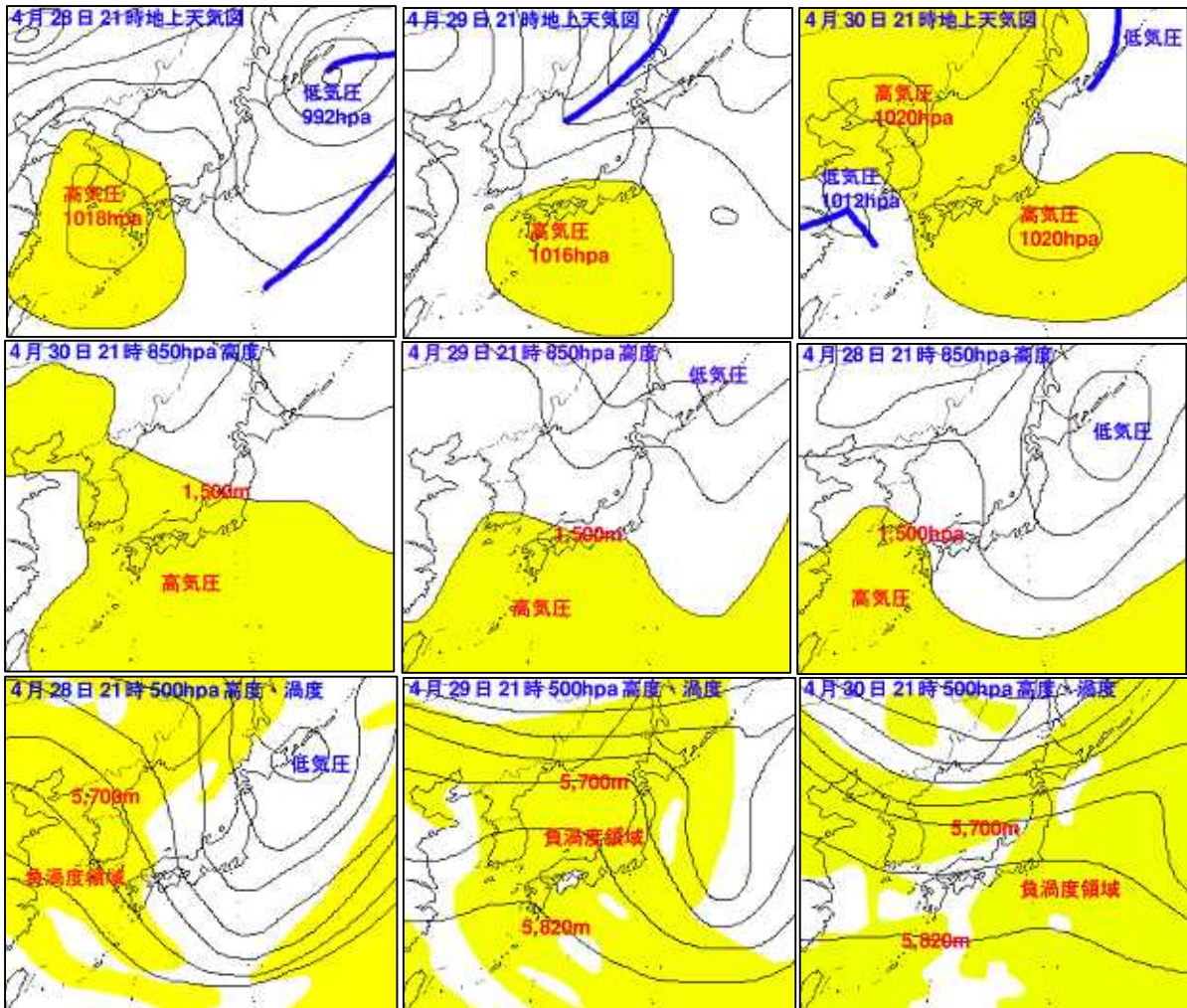
850hpa面をみると、1,500mの等高線が東シナ海から本州の南海上にかけて広がっていたことがわかります。

500hpa面を見ると、29日以降 5,700mの等高線が日本海まで北上して上空の高気圧が勢力を強めたことがわかります。

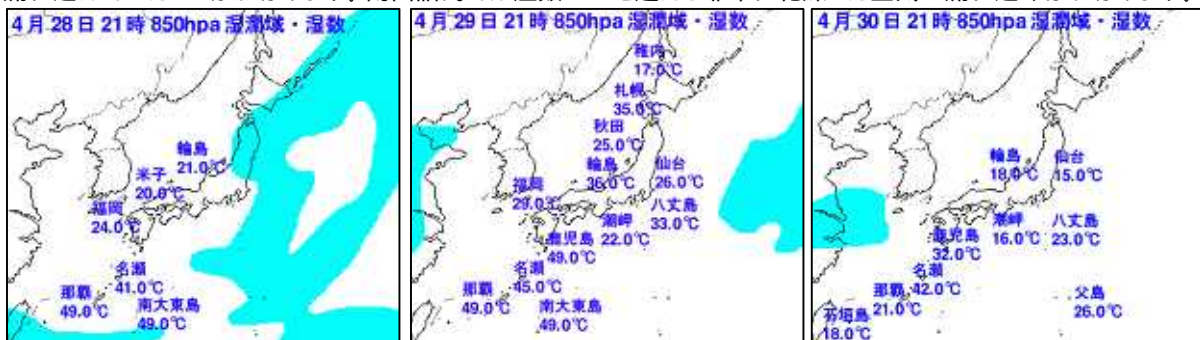
29日をピークに明瞭なリッジも解析されます。

500hpa面の負渦度領域は日本付近を広く覆っています。

以上から、本州南部から南海上にかけての広い範囲で高気圧に覆われていたと解析できます。

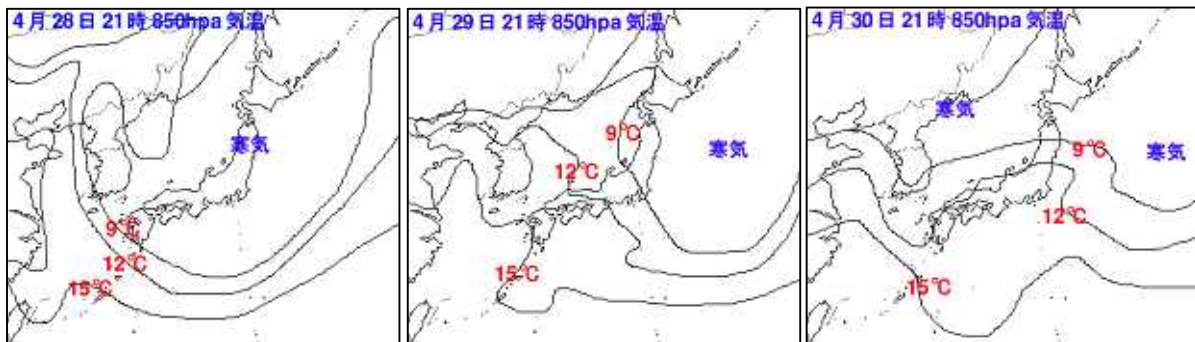


850hpa面の湿潤域・湿数をみると、南西諸島から本州南部にかけてを中心に湿数20 以上の乾燥空気が流れ込んでいたことがわかります。南西諸島では湿数40 を越える非常に乾燥した空気の流れ込みがわかります。



以上から、南西諸島付近から本州の南海上を中心に(29日は日本海も含めて)ダクトが発生しやすい気象状態にあったと解析できます。

さらに、南西諸島から本州の南海上にかけての広い範囲に渡って上空850hpa面の気温が12 以上の暖かい空気に覆われていたことがわかります。



このことによって、この地域では気温が上昇しやすい状態となり、海面付近で暖かい湿った空気が停滞する一方で上空には暖かい乾燥空気が流れ込み下降流の発生によって明瞭な逆転層が広範囲に渡って一様に形成されたと推測できます。

以上の好条件が重なったことにより、広い範囲に渡って強力なダクトが形成されたと解析します。